

◎第7回理事会(41.12.16)出席者:篠原会長, 畑谷, 最上各副会長, 羽田専務理事, 青木, 飯吉, 内林, 神田, 久保, 堺, 多谷, 成岡, 耳野, 横戸, 吉田, 渡辺の各理事, 井関監事。議事録署名理事の決定:篠原会長, 羽田専務理事, 渡辺理事。A. 報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告がありました; 1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 第8回藤原賞候補推薦者推薦依頼について。5) 会員の入退会について。B. 協議事項: 1) 文部省学術奨励審議会委員候補者の推薦について。2) 日本工学会会費改訂の件。3) 原子炉用プレストレストコンクリート容器に関する研究小委員会設置の件を承認。4) その他。5) 委員の委嘱について

① 軟弱地盤耐震設計小委員会
幹事 黒田 悌且 国鉄施設局
② 異形鉄筋設計例改訂小委員会
委員 下川 浩資 建設省道路局
西沢 紀昭 中央大学

◎各種委員会

(1) 会誌編集委員会 懸賞論文審査会(41.11.11) 出席者: 増岡委員長, ほか4名。議事: 1) 受付論文の審査。2) 入賞作品の決定。

(2) 会誌編集委員会座談会(41.11.17) 出席者: 増岡委員長(司会), 伊丹康夫, 川崎偉志夫, 村 幸雄, 村山朗郎, 粕谷逸男の各氏, 羽田専務理事。議事: 「わが国の土木技術の水準を語る(仮題)」につき座談会開催。

(3) 土木年鑑編集委員会 出版記念会(41.11.21) 出席者: 篠原会長, 羽田専務理事, 八十島委員長, 片山副委員長, ほか17名。議事: 土木年鑑1967の出版を記念し, その成果を祝う。あわせて反省を行なう。

(4) 軟弱地盤耐震設計研究委員会 第2回幹事会(41.11.21) 出席者: 関係者12名。議事: 1) 前回議事録について。2) 昭和41年度研究項目および報告書のとりまとめについて。3) 委員の交代。

(5) 衛生工学会(41.11.22) 出席者: 板倉委員長, ほか13名。議事: 1) 委員会規定について。2) 大学設置委員会について。3) 東京電力よりの委託研究について。4) 国際水質汚濁会議について。5) その他。

(6) 本州四国上部構造に関する専門部会材料調査幹事会(41.11.24) 出席者: 関係者8名。議事: 省略。

(7) 水理委員会常任委員会(41.11.25) 出席者: 石原委員長, 林副委員長, ほか8名。議事: 1) IAHRについて。2) 第11回水理講演会プログラムの作成。3) 水工学夏期研修会開催について。4) 委員会規定(案)について。5) 学術会議第5部水理特別委員会報告。

(8) 岩盤力学委員会第1分科会(第3回)(41.11.28) 出席者: 関係者6名。議事: 1) 講演「黒四ダムの設計に用いた岩盤の弾性係数について」。2) 今後の運営について。

(9) 土木技術者研修計画委員会(41.11.28) 出席者: 鈴木幹事長, ほか5名。議事: 1) 経過報告。2) 第2回研修方法について; ①群馬工業高専の場合, ②磯子工業高等学校の場合, ③田無工業高等学校の場合。3) その他のモデル校による研修について; 法政大学の場合。

(10) 第7回原子力土木技術委員会(41.11.28) 出席者: 左合委員長, ほか8名。議事: 1) 前回議事録の承認。2) 第4回理工学における同位元素研究発表会について。3) 第5回原子力総合シンポジウムについて。4) 海洋汚染の問題について。5) PCプレッシャーベッセル国際会議開催について。6) 立地問題ワーキング・グループ中間報告書について。

(11) トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究小委員会(41.11.28) 出席者: 坂本委員長, ほか12名。議事: 1) 鋼アーチ支保工の応力計算に関する2, 3の検討について。2) 41年度研究計画について。3) 委員会構成について。

(12) 土木工学叢書委員会(41.11.29) 出席者: 最上委員長, ほか5名。議事: 1) 各巻作業進行状況について。2) 各巻原稿提出期日についての検討。3) 原稿の督促および作業進行状況の確認方法。4) 今後の事業の進め方について。

(13) 本州四国耐震設計小委員会第41回幹事会(41.11.29) 出席者: 関係者10名。議事: 省略。

(14) 岩盤力学委員会編集小委員会(41.11.29) 出席者: 岡本委員長, ほか5名。議事: 「土木技術者のための岩盤力学」の出版完成について。

(15) 日本土木史編集委員会(第3回)(41.11.30) 出席者: 青木委員長, 佐藤副委員長, 高橋橋幹事, 羽田専務理事, ほか15名。議事: 1) 日本土木史編集に関して; ①経過報告, ②割当ページの決定, ③各編の編成などに関する検討, ④各編間の調整について, ⑤追加事項の有無の検討, ⑥各編の名称について, ⑦各編の目次順序について。2) 今後の委員会

の方針。3) その他。

(16) 文献調査委員会(41.12.2) 出席者: 関係者13名。議事: 1) 会誌52巻2号登載抄録の決定。2) 解説記事について。3) その他。

(17) 第3回中海干拓事業水理研究専門委員会(41.12.2) 出席者: 速水委員長, ほか19名。議事: 1) 水理模型実験について。2) 美保湾潮流と弓浜半島の侵食について。3) その他調査について。4) 分科会の設置について。

(18) 第2回大学土木教育委員会(41.12.2) 出席者: 林委員長, ほか15名。議事: 1) 前回議事録について。2) 委員の交代および新任委員の紹介。3) 経過報告。4) 大学土木教育に関するアンケート(案)について。5) 日本土木史「土木教育史」について。6) 長期研究計画について。

(19) コンクリート委員会打合せ(41.12.2) 出席者: 国分委員長, ほか2名。議事: 原子炉用プレストレストコンクリート容器に関する調査研究について。

(20) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(41.12.3) 出席者: 関係者6名。議事: 省略。

(21) 水理公式集小委員会(41.12.3) 出席者: 横田委員長, ほか8名。議事: 1) 水理公式集の小改訂について。2) 水理公式集の英文版の出版について。

(22) 本州四国耐震設計小委員会打合せ(41.12.5) 出席者: 関係者8名。議事: 省略。

(23) 昭和41年度第1回海岸工学委員会(41.12.5) 出席者: 本間委員長, ほか23名。議事: 1) 前回議事録について。2) 第14回海岸工学講演会開催について。3) 講演集および英文海岸論文集の発行, 頒布状況, 販売方法, 寄贈について。4) 昭和42年度水工学夏期研修会について。5) 委員の一部交代について。

(24) 構造用軽量骨材に関する研究小委員会(41.12.6) 出席者: 国分委員長, ほか9名。議事: 人工軽量骨材を用いたコンクリートの各種試験結果についての報告。

(25) 出版企画委員会(41.12.6) 出席者: 春日屋, 堺正副委員長, 久保幹事長, ほか9名。議事: 1) 41年度新規出版物の進捗状況について。2) 工事報告「天草架橋」の出版委託について。3) 新規出版物について。4) その他。

(26) 会誌編集委員会座談会(41.12.6) 出席者: 本間 仁, 永井莊七郎(司会), 林 泰造, 岩崎敏夫, 岩垣雄一, 岸力, 堀川清司の各氏, 服部幹事, ほか10名。議事: 海岸工学の研

究現況(仮題)につき座談会を実施。

(27) 会誌編集委員書評小委員会(41.12.7) 出席者:高橋小委員長,ほか4名。議事:1)経過報告。2)受付図書審査,手配。3)会誌 52 巻1号登載書評決定。4)その他。

(28) 本州四国 耐風設計小委員会特別幹事会(41.12.7) 出席者:関係者11名。議事:省略。

(29) 八郎潟干拓船越水道水理 特別委員会(41.12.8) 出席者:本間委員長,ほか20名。議事:1)前回議事録について。2)海浜崖の発達について。3)船越水道の水理計算について。4)防潮水門下流部の掃砂実験について。

(30) 第103回耐震工学委員会(41.12.9) 出席者:那須委員長,ほか9名。議事:1)前回議事録の確認。2)委員の交代について。3)本州四国耐震設計小委員会報告。4)軟弱地盤耐震設計研究小委員会報告。5)IAEE について。6)地震工学研究発表会について。

(31) 本州四国耐震設計小委員会第42回幹事会(41.12.9) 出席者:岡本委員長,ほか14名。議事:省略。

(32) 異形鉄筋設計例改訂小委員会(41.12.9) 出席者:国分委員長,ほか13名。議事:異形鉄筋の設計例の改訂について。

(33) 土木図書館運営委員会(41.12.9) 出席者:米元委員長,浅川幹事長,ほか2名。議事:1)図書館の利用度をあげる方法について。2)フィルムライブラリーの整備について。3)その他。

(34) 会誌編集委員会座談会(41.12.12) 出席者:高橋裕委員(司会),福地辰馬,堀口孝男,井島武士,豊島 修,白石直文,千秋信一の各氏,ほか2名。議事:会誌 52 巻2号登載特集:「海岸工学」のうち座談会施工編を実施。

(35) 第2回トンネル用鋼アーチ 支保工の強度に関する研究委員会(41.12.12) 出席者:坂本委員長,ほか16名。議事:1)委員会構成について。2)鋼アーチ支保工に関する現在までの研究成果と今後の課題について。3)昭和41年度の研究方針と分担について。

(36) 河北潟干拓河口 工事研究委員会(41.12.12) 出席者:関係者18名。議事:1)導流堤の配置について。2)導流堤の構造と工法について。3)その他現地視察による意見。

◎その他

(1) 第3回衛生工学研究討論会(41.11.22)

会場:土木学会土木図書館講堂

参加者:約150名
講演数:13題

(2) 第2回国土開発映画コンクール入賞作品発表会(41.11.24)

場所:発明会館ホール
参加者:200名

入賞映画6編上映
映画賞贈呈(企画8団体)
賞状贈呈(制作8社)

(3) 日本学術会議材料研究連絡委員会打合せ(41.11.24) 出席者:関係者9名。議事:日本学術会議における材料研究の長期計画について。

(4) 第13回橋梁・構造工学研究発表会(41.11.25)

場所:土木学会土木図書館講堂
参加者:約100名
講演数:14題

(5) 第3回トンネル工学に関するシンポジウム(41.11.29~30)

場所:私学会館
参加者:542名
講演数:12題
見学会:シールド工法現場 および凍結工法現場

(6) 第13回海岸工学講演会(41.12.5~6)

場所:宮城県民会館
参加者:約280名
講演数:52題
見学会:12月7日 参加者:90名

支 部 だ よ り

◎関西支部

(1) PCに関する講習会—プレストレスト コンクリート 最近の進歩について—(41.11.30~12.1) (大阪科学技術センター)

主催:土木学会関西支部

協賛:日本建築学会近畿支部・日本材料学会PC構造研究委員会・プレストレスト コンクリート技術協会

題目と講師
(第1日)

1. PCの現状と趨勢
京都大学教授 工博 岡田 清
2. PC鋼材の現状
住友電気工業(株)特殊線事業部長 武尾敬之助
代講 技術部技師長 鳥居勇三郎
3. PCに対する設計上の諸問題(静定構造)
神戸大学助教授 工修 藤井 学
4. PCに対する設計上の諸問題

(不静定構造)

大阪大学助教授 工修 針木 計夫
5. PC構造物の耐震性および耐火性
京都大学教授 工博 六車 照
(第2日)

6. F.I.P.(PC 世界会議)の概要と各国の展望
(株)日本構造橋梁研究所設計部長 工博 猪股 俊司
7. PC建築物の組立工法について
(株)岡本建築設計事務所 工博 岡本 剛
8. 最近のPC道路橋の長大化について
日本道路公団技術部構造設計課長 工藤 憲一
9. PC鉄道橋の最近の傾向と諸問題
国鉄構造物設計事務所主任技師 尾坂 芳夫

参加者:312名(会員265名・非会員47名)

参加費:会員1500円・非会員2000円

(2) 道路・交通工学における最近の諸問題講演会(41.12.6~7, 大阪府厚生会館)

題目と講師
(第1日)

1. 道路交通量の推定について
京都大学教授 工博 佐佐木 綱
2. 交通流の面制御
京都大学助教授 工修 明神 証
3. ガードフェンスについて
建設省土木研究所道路部道路研究室 主任研究員 枝村 俊郎
4. 交通工学の最近の動向
京都大学教授 工博 米谷 栄二

(第2日)

5. 簡易舗装と防塵処理
大阪市立大学教授 工博 三瀬 貞
6. アスファルト舗装の問題点
建設省土木研究所道路部舗装研究室長 工修 松野 三朗
7. 道路維持管理上の問題点
近畿地方建設局道路部長 佐々木茂雄
8. 道路土工の問題点
建設省土木研究所千葉支所長 工博 福岡 正己
9. 道路における多層問題
名古屋大学助教授 工博 植下 協
10. 締固めおよび斜面安定
神戸大学教授 工博 谷本 喜一
11. 路床, 路盤における水の挙動
京都大学教授 工博 松尾新一郎
代講 京都大学講師 工修 河野伊一郎
12. 道路構造物における問題点
大阪大学教授 工博 伊藤 富雄

参加者:318名(会員231名・非会員87名)

参加費:会員1000円・非会員1300円

(3) 第3回学生見学会(41.12.14)

見学先:琵琶湖大橋, 愛知川ダム工事
参加者:135名 参加費:50円

(4) 学生映画会(第3回)(41.12.8, 神戸大学)

上映映画:①くろよん ②天ヶ瀬ダム
③羽田モノレール
④新しい橋(D.W. 工法)

参加者:62名(正会員5名・学生会員57名)

名)

(5) 学生映画会(第4回)(41.12.10, 大阪工業大学)

上映映画:

- ①摩耶埠頭建設の記録 第1編
- ② " " 第2編
- ③伸び行く工業用水道 ④甦える大地
- ⑤合成桁橋実験 ⑥軽量形鋼の話

参加者: 91名(正会員5名・学生会員86名)

(6) 第9回溶射技術講演会および研究発表会(41.12.1~3, 日刊工業新聞大阪支社)

共催: 日本溶射協会・金属表面技術協会関西支部・日本機械学会関西支部

協賛: 土木学会関西支部・溶接学会・関西造船協会・日本建築学会近畿支部・日刊工業新聞社・日本鍍研新聞社

特別講演: 1題

講演: 7題

研究発表: 7題

参加者: 78名

(7) 実用荷重に対する強度講習会

(41.12.6~7, 大阪府立工業奨励館)

共催: 日本材料学会関西支部・土木学会関西支部・日本機械学会関西

支部・日本航空学会関西支部・日本建築学会近畿支部

講演: 10題

参加者: 127名

参加費: 会員3500円・非会員4500円

(8) W. Flüge 教授を迎えて建築講演会(41.12.13, 大阪科学技術センター)

主催: 日本建築学会近畿支部

協賛: 土木学会関西支部・日本機械学会関西支部・関西造船協会

題目と講師:

シエル構造発達史

Stanford 大学教授 Wilhelm Flüge

参加者: 160名

(9) 第8回幹事会(41.12.6, 中央電気倶楽部)出席者: 小西支部長, 伊藤幹事長, ほか15名。

(10) 第1回土木学会賞候補支部推薦詮衡委員会(41.1.16, 中央電気倶楽部)出席者: 伊藤幹事長, ほか10名。

(11) 第7回騒音振動委員会(41.12.13, 好文倶楽部特別室)出席者: 庄司委員長, 小西支部長, 畑中幹事長, ほか16名。

(12) 騒音振動委員会幹事会(第3回)(41.11.29, 好文倶楽部)出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか5名

(13) 騒音振動委員会幹事会(第4回)(41.12.13, 好文倶楽部特別室)出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか4名。

◎西部支部

(1) 第6回新材料工法発表会(41.12.8)

場所: 福岡市中洲明治生命ビル

参加者: 記帳者191名

開会のあいさつ

土木学会西部支部長 七田 茂
平行線ケーブルによる「金谷橋」架設
工事の実験から架設まで

八幡製鉄 津山 繁昭
R.G. パイル工法(場所詰パイル)に
ついて ライト工業 沼尻俊之助

異形ブロックアクモンについて
ライト工業 篠 光久
鋼管矢板井筒工法について

川崎製鉄 小松 雅彦
我国のシールド工法とセグメントの現
状について 熊谷組 大塚 本夫

◎セミ・オートジョイント工法につ
いて 八幡製鉄 三摩 茂雄
大気圧工法(真空荷荷工法)

水野組
砂止め用マットについて
日本アイディア 村尾 修治

耐蝕性鋼材について 富士製鉄 北川 一智
人工軽量骨材, メサライトについて
三井金属鉱業 清水 昭

新型防錆塗料, ラストークについて
三井金属鉱業 古賀 明男

編集 後記

土木関係の国際会議は年々増加し,これにつれて国際会議がわが国で開催される機会も非常に多くなってきた。昨年は太平洋学術会議など4つの国際会議やシンポジウムがわが国で行なわれ,今年も11月に国際道路会議が行なわれる。

日本で開催される国際会議には国外の場合にくらべて若い年代の研究者や現業機関の人々が多数参加することができて,国際会議のふん囲気に接し,外国の人々と直接ディスカッションする機会にめぐまれることは,その会議に関係する分野での研究・技術に大きな刺激を与えている。

会誌2月号は昨年9月,東京で開催された第10回海岸工学会議を中心にして海岸工学に関する特集号を企画した。海岸工学は土木工学の中でも比較的若い,現在育ち盛りの学問であり,また海国日本では誰れもが話題に

し,体で接することのできる海や海岸の問題と取りくんでいる前途有望な研究分野であると思われる。そこでこの特集号は国際会議での話題などを通じて,現在の海岸工学での問題点や今後の見通しなどを一般会員の方々にご理解していただくことを編集方針として企画した。このため本特集号では国際会議の経過をはじめ,2つの座談会,それに解説記事風にまとめた国際会議の話題など少しばかり盛り沢山と思われるほどの内容となった。また海岸工学会議の下働きをされた方々の感想をとりまとめて今後わが国で行なわれる国際会議の参考になればと思っている。

本号は,この他に投稿論文等を収録しました。登載までに大変期間を要するケースが出て常々申しわけなく考えている次第ですが,極力受付次第登載できるよう配慮したく考えおります。(服部昌太郎・記)